



レッドリボンは
HIV・エイズと共に生きる人々への
理解と支援のシンボルです。



赤いリボンは、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

1990年ごろ、演劇や音楽などで活動するアメリカのアーティストたちにもエイズがひろがり、亡くなる人が増えていきました。追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、仲間内で“レッドリボン(赤いリボン)”をシンボルにした運動が始まりました。その後、世界的な運動として発展、国連共同エイズ計画(UNAIDS)のシンボルマークになりました。レッドリボンは、あなたが“エイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しない”というメッセージです。

【HIV・エイズの流行状況】

日本では、2013年の1年間に新たに報告されたHIV感染者(HIVウイルスに感染している人)は1,106件、エイズ患者(エイズを発症している人)は484件、合計で1,590件(過去最多)でした。単純に日割り計算すると1日に約4人の感染が報告されていることになります。

(厚生労働省エイズ動向委員会発表より)

【HIV・エイズは予防できます】

HIVの主な感染経路は性行為。感染を防ぐには、性行為をしないこと。または、コンドームを正しく使用することが大切です。日頃から、パートナーと予防のことやお互いの気持ちを話し合っておきましょう。

★HIV・エイズの知識(Q&A)は、エイズ予防情報ネットへ→URL:<http://api-net.jfap.or.jp/>

【HIV・エイズ検査・相談】

HIVに感染しているかどうかは、HIV・エイズ検査を受けなければわかりません。横浜市内の福祉保健センターや横浜AIDS市民活動センターなどでは、無料・匿名の検査・相談を行っています。くわしくは **横浜市保健所 エイズ** で検索してください。
(検査に関するお問い合わせは横浜市健康福祉局健康安全課へ TEL: 045-671-2729)

世界エイズデー in Yokohama 2014



- ★参加賞つき クイズラリー (12時～、先着100名様限定)
 - ★手作りレッドリボンコーナー
 - ★バルーンアート★展示 など
- くわしくは中面へ!



マスコットキャラクター・コムちゃんも登場! さがしてみてね!

～HIV・エイズについて考え行動する皆さんを応援しています～



横浜AIDS市民活動センター
(JR関内駅北口徒歩1分)
TEL: 045-650-5421 E-mail: info@yaaic.gr.jp
URL: <http://www.yaaic.gr.jp/>



毎週火曜の夜は横浜市HIV・エイズ夜間検査(無料・匿名・予約不要)

12月1日世界エイズデーにあわせて
キャンペーン開催! 入場自由・無料★
11月22日(土)11:00～16:30
新都市プラザ (横浜そごう前地下広場)



主催: 横浜AIDS市民活動センター(横浜YMCAが、横浜市から事業を受託しています)
参加団体: アジアの女性と子どもネットワーク、認定NPO法人AIDSネットワーク横浜、
社団法人神奈川県臨床検査技師会STI予防啓発委員会、NPO法人SHIP、公益財団法人横浜YMCA

